

2025年3月期 決算説明及び中期経営計画



会社概要

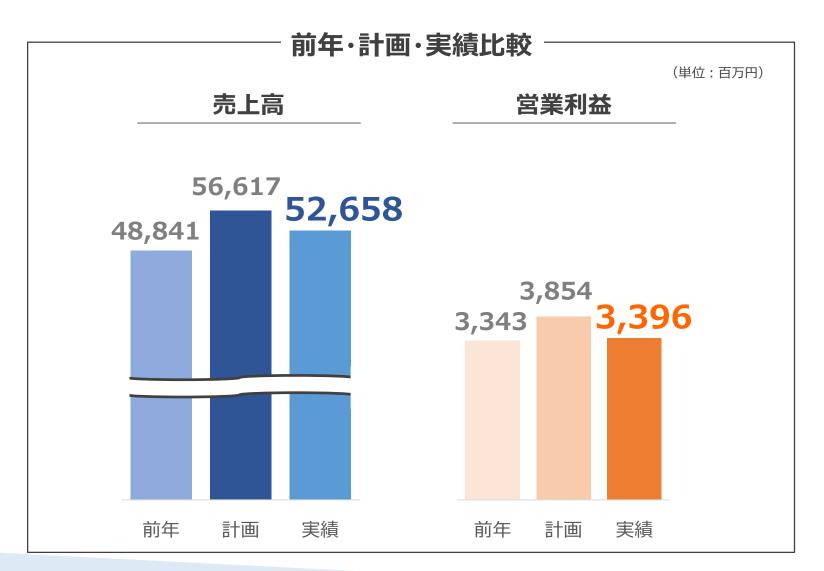


商号	シュッピン株式会社 Syuppin Co., Ltd.								
証券コード	3179								
代表者	小野 尚彦	小野 尚彦							
本社所在地	東京都新宿区西籍	新宿1-14-11 Daiwa西新宿ビル3階							
設立	2005年8月								
事業内容	インターネットを利用して、「価値ある大切な新品と中古品」を安心安全にお取引を行う								
 従業員数	250名(2025年3月末)								
	1994年8月	専門店屋号「Map Camera」としてカメラ事業を創業							
	1	等「JIA 座号「Map Carriera」としてガメノ事業を創業							
	2005年8月	005年8月 当社設立(資本金100,000千円)							
	2006年6月	2006年6月 時計買取・販売事業を開始							
	2008年4月	筆記具買取・販売事業を開始							
	2008年11月	スポーツ自転車買取・販売事業を開始							
沿革	2012年12月	東京証券取引所マザーズ市場に上場							
	2015年12月	東京証券取引所第一部市場に市場変更							
	2019年12月	レディース腕時計専門サイトをオープン							
	2022年1月	(株)フクイカメラサービスとの資本業務提携							
	2022年4月	東京証券取引所プライム市場へ移行							
	2022年11月	「BRILLER」が店舗拡張し、レディースブランドサロンとしてリニューアルオープン							
	2024年3月	(株)シグマクシス、(株)シグマクシス・インベストメントと資本業務提携							

決算ハイライト (通期)

通期計画比で売上高:93%、営業利益:88%と計画を下回る

前年同期比で売上高:108%、営業利益:102%

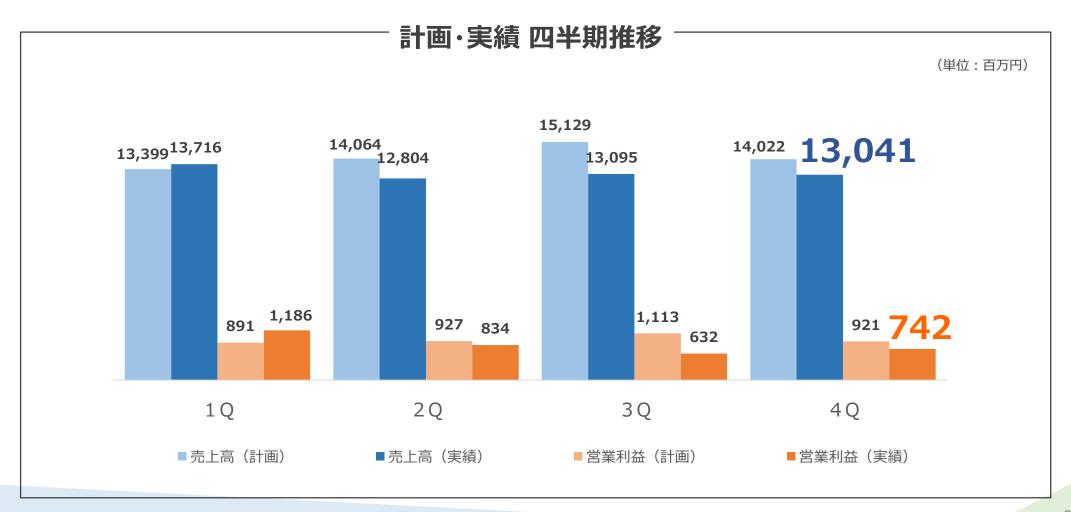


決算ハイライト(4Q単体)

EC売上高は100億円を突破し過去最高売上高となるが、

カメラ事業部の粗利率低下、時計事業部が売上・利益ともに計画を下回ったことで

計画比で売上高:93%、営業利益:80%と計画は下回る。



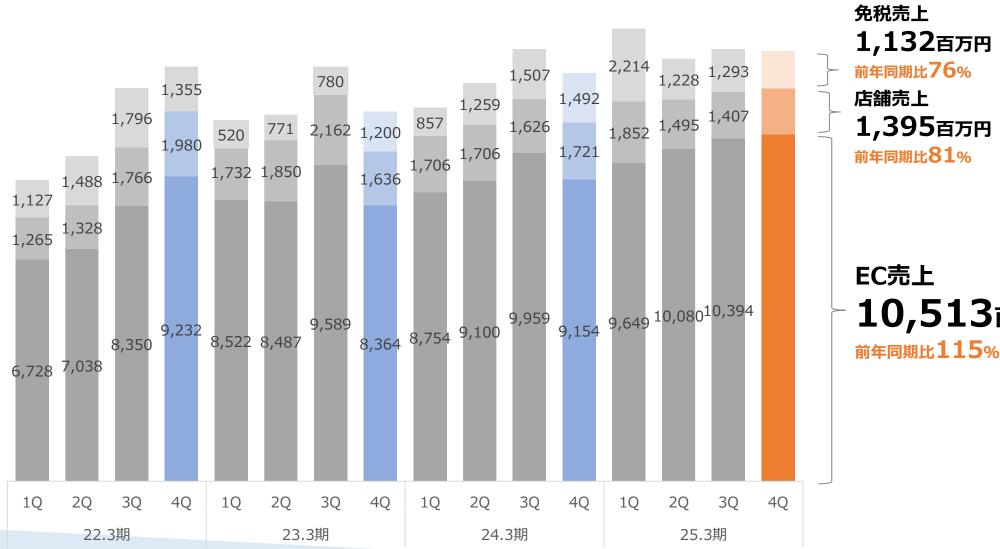
販売/買取実績

販売チャネル別 売上高推移(4Q単体)



EC売上高は四半期ベースで、引き続き100億円超

主軸のカメラ事業が順調に推移し、EC全体で前年同期比115%と順調に推移しました。



1,132百万円

1,395百万円

10,513百万円

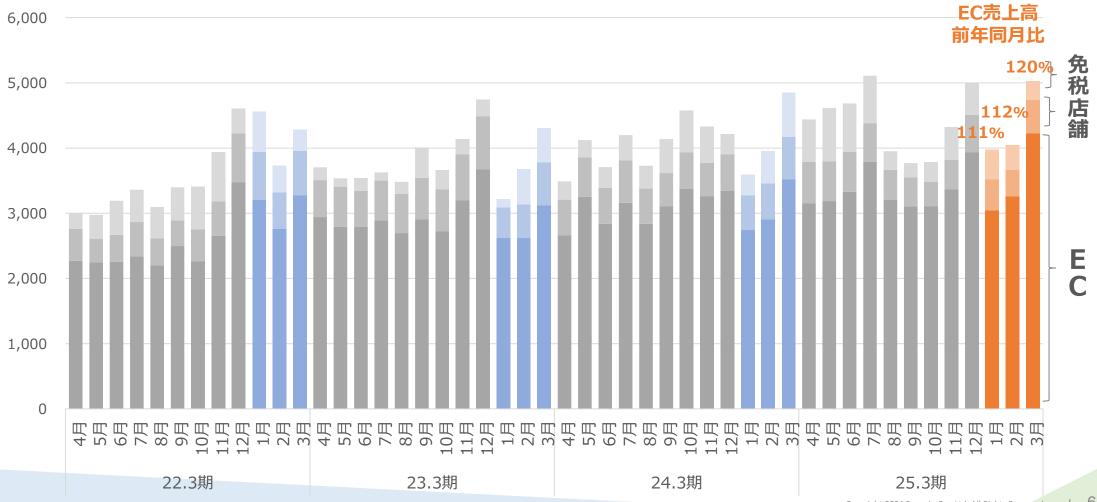
販売チャネル別 売上高推移(月次)

: 主軸のカメラ事業が成長ドライバーとなり順調に推移、3月は過去最高売上高となる

店舗:前年同期比で下回っての推移

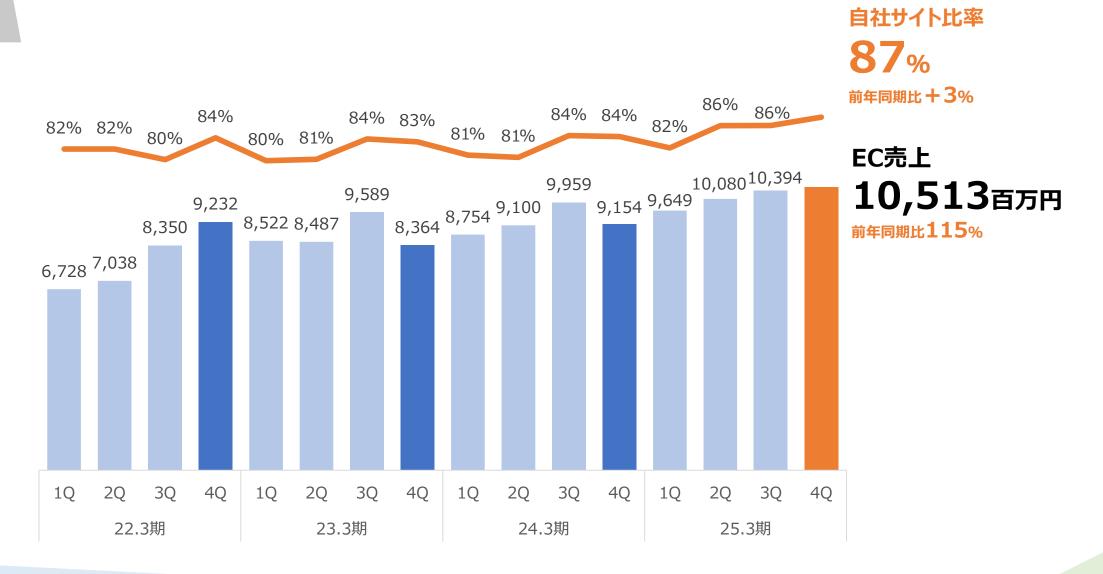
免税:1月以降、軟調な推移

(単位:百万円)



E C売上高推移(4Q単体)

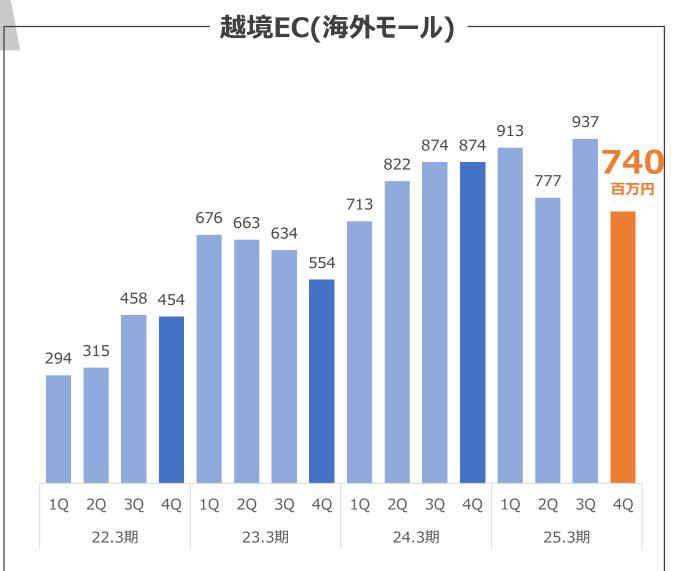
自社サイト比率は、安定して80%以上の高い水準を維持



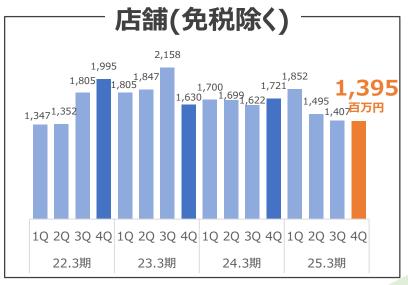
越境 E C (海外モール)・免税・店舗 売上高推移 (4Q単体)



越境ECにおいては、為替変動や関税政策の影響もあり減速傾向に



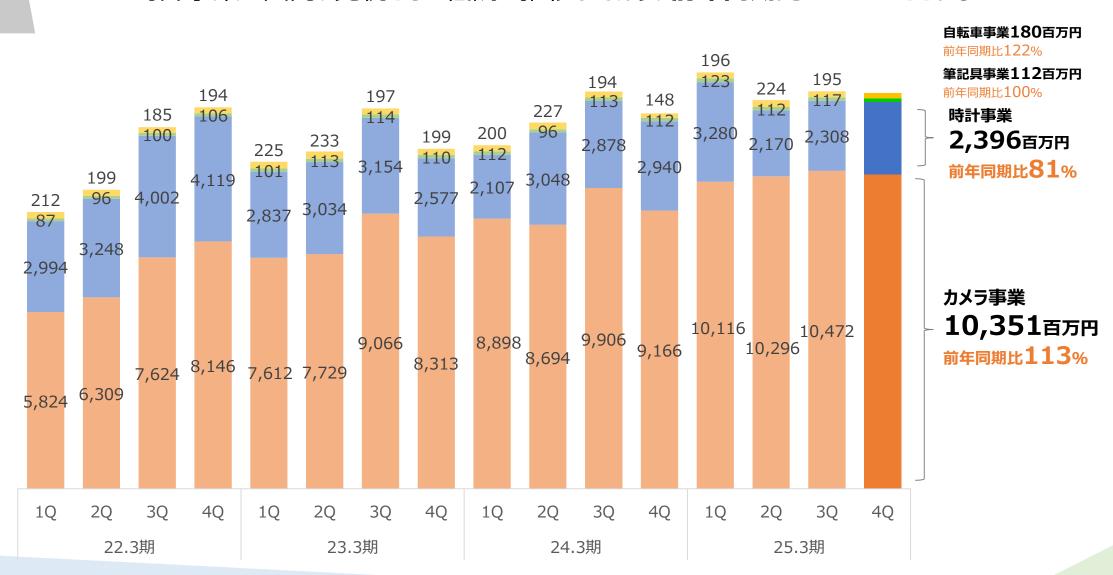




事業別 売上高(4Q単体)



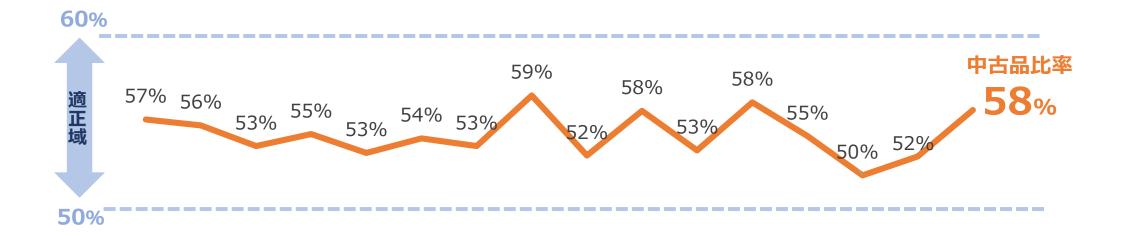
主軸のカメラ事業は継続して100億円超、**前年同期比で2桁成長**となる時計事業は国内、免税ともに低調に推移しており、**前年同期比81%**にとどまる



売上高全体に占める中古品比率推移(4Q単体)

決算セール等のイベント要因により中古品比率は上昇するも、

新品・中古の買替サイクルは引き続き堅調

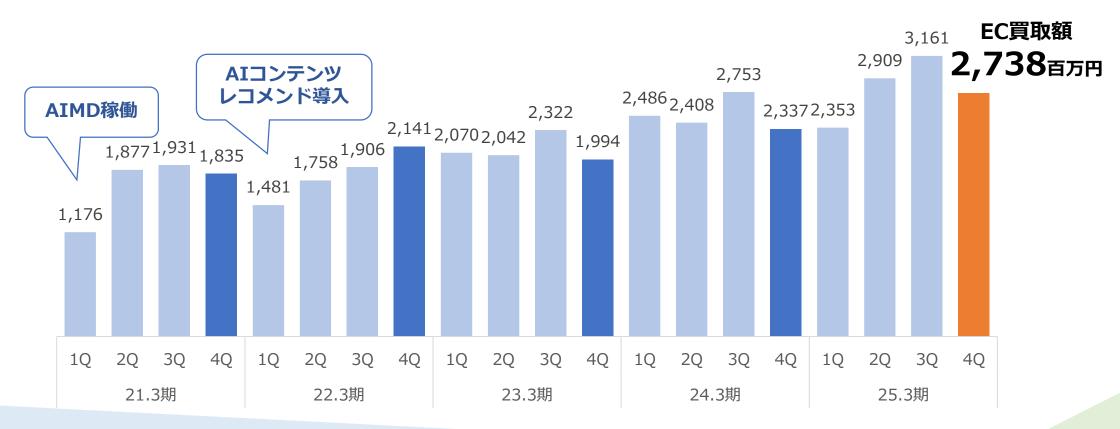


	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
22.3期					23.	3期			24.	3期			25.	3期		

カメラ事業 中古EC買取金額推移(4Q単体)

EC買取額は前年同期比117%、比率は80%と好調

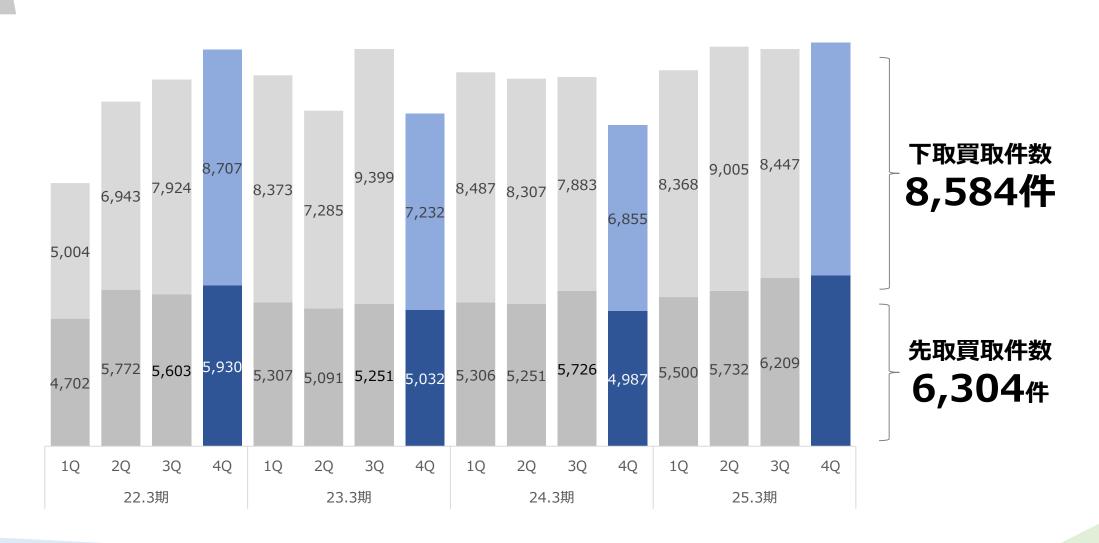




カメラ事業 下取・先取交換件数推移(4Q単体)



下取・先取交換件数は前年同期を大きく上回り中古仕入は順調に推移





財務ハイライト

決算概要:前年比較(通期)

前年比で売上高:108%、経常利益:101%

※3Q:ソフトウェア資産の特別損失として約3.86億円計上

(単位:百万円)

	24.3	期 通期	25.3期 通期								
	実績	売上高比率	実績	売上高比率	前年比	計画	計画比				
売上高	48,841	_	52,658	_	108%	56,617	93%				
売上総利益	9,127	18.7%	9,852	18.7%	108%	10,663	92%				
販売管理費	5,783	11.8%	6,455	12.3%	112%	6,808	95%				
営業利益	3,343	6.8%	3,396	6.5%	102%	3,854	88%				
経常利益	3,344	6.8%	3,368	6.4%	101%	3,824	88%				
当期純利益	2,322	4.8%	2,020	3.8%	87%	2,639	77%				

販売管理費の前年比(通期)

堅調な売上げを維持しつつ、販管費率は12.3%と安定した推移

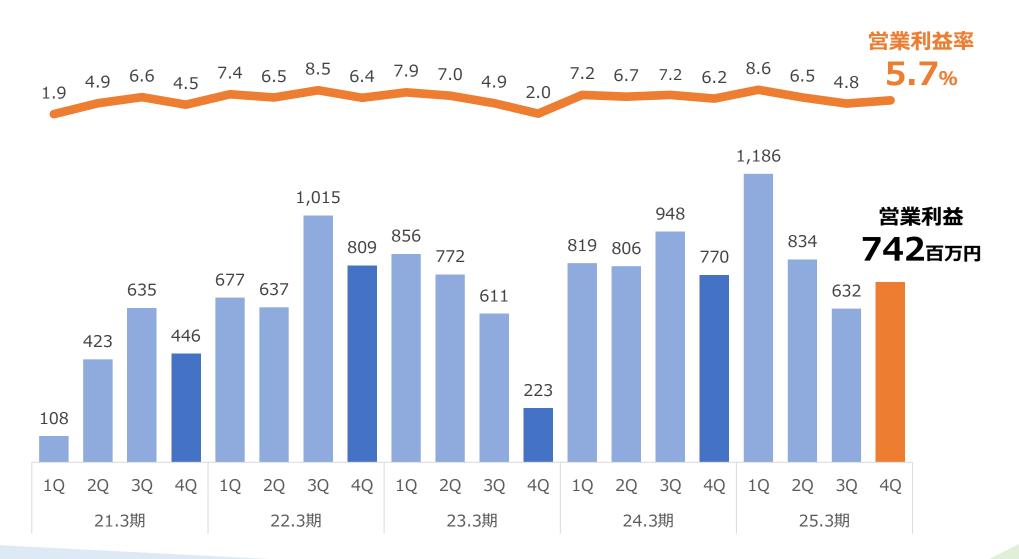
※()内は売上比			前年比增減率	前年比増減額	
5,783百万円	6,455 百万円 (12.3%)	· 販売管理費計	(売上比) 0.4pt	671百万円	
(11.8%)	889 (1.7%)	 その他	0.4pt	239百万円	
650 (1.3%) 73 (0.2%) 173 (0.4%)	97 (0.2%) 202 (0.4%) 389 (0.7%)	広告宣伝費 減価償却費 地代家賃	0.1pt 0.0pt 0.0pt	24百万円 29百万円 35百万円	
354 (0.7%) 389 (0.8%)	510 (1.0%)	業務委託費	0.2pt	120百万円	● システム強化による運営費増
1,069 (2.2%)	1,132 (2.1%)	販売促進費	0.0pt	62百万円	
1,279 (2.6%)	1,425 (2.7%)	支払手数料	0.1pt	145百万円	● 売上高連動に伴う手数料UP
1,794 (3.7%)	1,807 (3.4%)	人件費	0.2 pt	13百万円	
24.3期 通期	25.3期 通期				

販管費率推移 (四半期単体)

1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
	21.3期 22.3期				23.	3期			24.	3期			25.	3期					

営業利益·営業利益率推移(4Q単体)

システム強化やメンテナンス対応、クレジット手数料などの売上連動に伴う 販管費率の上昇が影響し、営業利益は7.42億円、営業利益率は5.7%となる



事業別業績の前年比較(通期)



(単位:百万円)

	販売チャネル	24.3期	25.	3期	トピックス				
※()内は売上構成比	見り カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カ	24.5规	通期	前年比	トレック人				
	· E C売上	30,867	34,867	113.0%					
Map Camera ®	・店舗売上	5,797	6,370	109.9%	■ ECは2桁成長となり好調な推移				
カメラ事業	売上計	36,664	41,237	112.5%	■ 営業利益は前年比106.2%と堅調な推移				
(78.3%)	営業利益	4,294	4,559	106.2%					
	・E C売上	5.340	4,689	87.8%					
	·店舗売上	5,633	5,467	97%	● 2Q以降は為替変動の影響などもあり				
時計事業	売上計	10,974	10,156	92.5%	売上、利益ともに前年を下回る				
(19.3%)	営業利益	444	439	99%					
95	·E C売上	305	341	111.8%					
めた KINGDOM NOTE®	·店舗売上	127	125	97.9%	● ECは2桁成長				
筆記具事業	売上計	433	466	107.7%	● 売上、利益ともに堅調に推移				
(0.9%)	営業利益	62	67	108.1%					
Willey.	・E C売上	453	740	163.2%	● 免税が減少し店舗売上高が減少する一方で、EC売				
CROWN GEARS	·店舗売上	316	57	18.2%	上高は前年比163.2%				
自転車事業	売上計	769	797	103.7%	・ モール売上高好調により販売手数料がUPし、				
(1.5%)	営業利益	47	19	41.6%	営業利益は減少				
	・E C売上	36,967	40,638	109.9%					
合計	・店舗売上	11,874	12,020	101.2%	● ECが堅調に推移し、全社売上高においても堅調な推移				
ши	売上計	48,841	52,658	107.8%	10円/み打圧化タ				

貸借対照表 前年度末比較

商品在庫は前年比で108%となり、約99億で着地

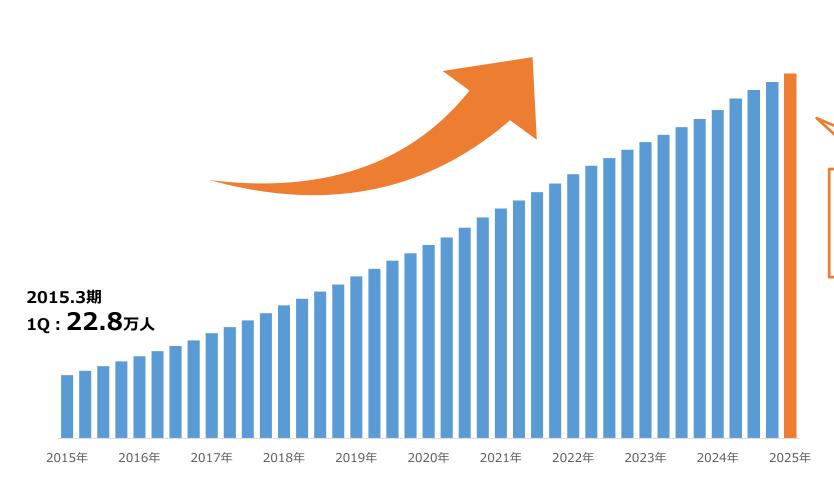
(単位:百万円)

	24.3期末	25.3期末				
	とす.3歳1本	実績	増減			
流動資産	13,961	15,733	1,771			
現預金	1,321	1,733	412			
商品	9,265	9,969	703			
固定資産	2,101	2,355	254			
資産合計	16,063	18,088	2,025			
流動負債	5,979	6,270	290			
固定負債	1,817	1,650	▲ 166			
負債合計	7,796	7,920	123			
純資産合計	8,266	10,168	1,901			
負債·純資産合計	16,063	18,088	2,025			

Web会員·配信実績

Web会員数の四半期推移

新規会員数は約4,600人/月増加を継続し、堅調に推移



累計会員登録数

(2025年3月末時点)

72.8万人

2025年1月:4,324人

2025年2月: 4,471人

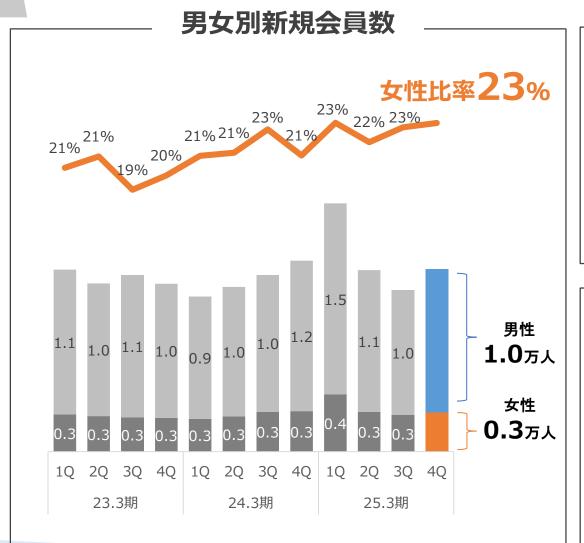
2025年3月:5,128人

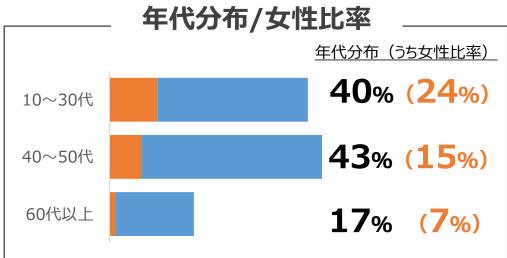
Web会員数の会員属性 年代/性別/エリア別

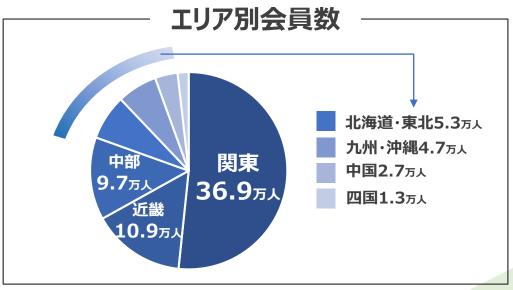
Market State of the State of th

4Qの新規加入者は女性が23%、2割以上を継続 ※全Web会員の女性比率:17%

Instagram、YouTubeなどのSNS普及により、10代~30代の女性比率は約24%と高い



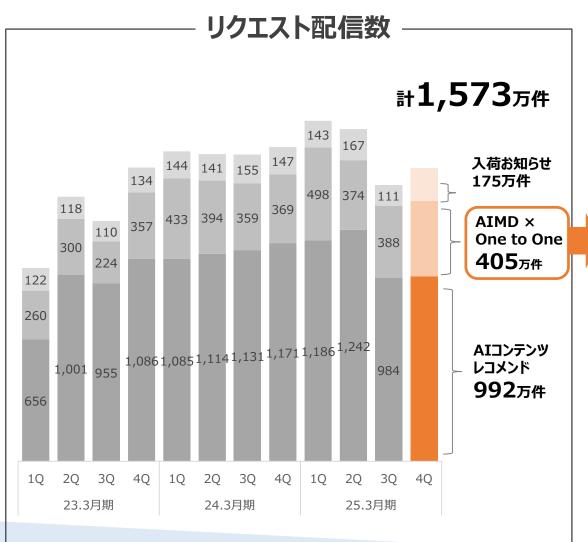


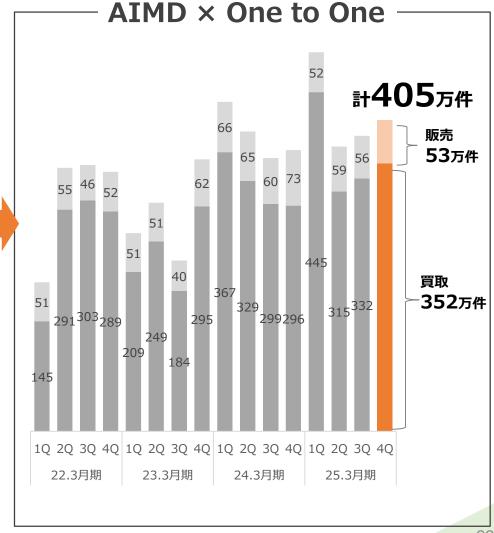


テクノロジーの開発/配信数実績(4Q単体)

配信数1,573万件=実店舗に換算すると約350店舗※

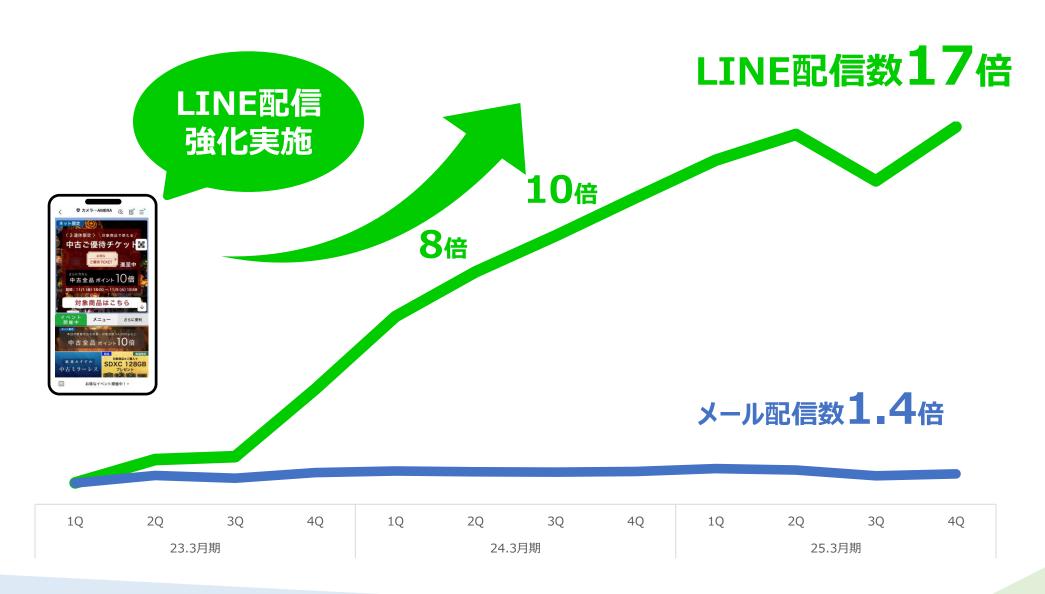
※当社試算:配信数を来店客数に換算した場合





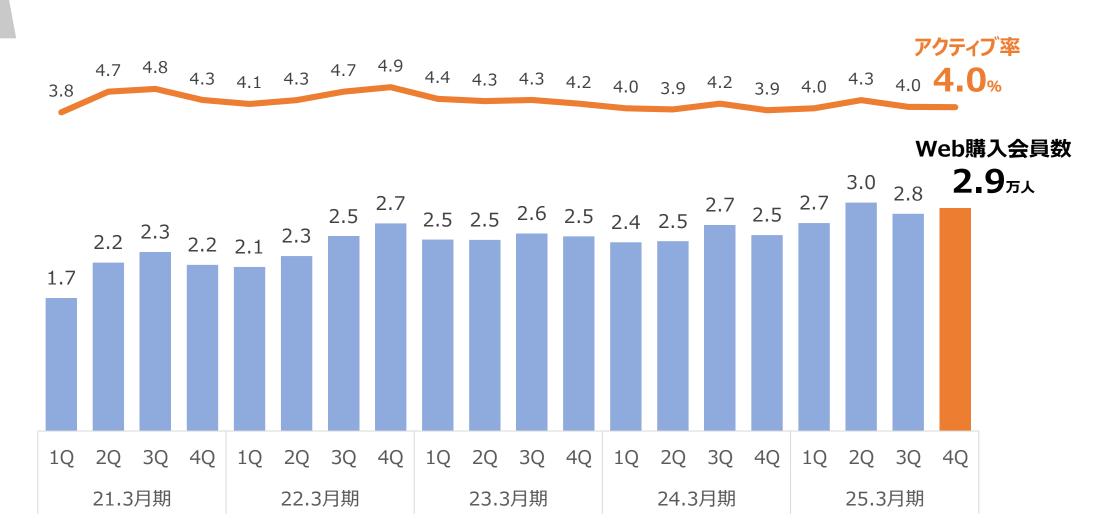
LINE配信数実績(4Q単体)

システムトラブルにより一時的に配信数が下がるも、LINE配信は**17倍に成長** (2023年3月期1Qを起点に算出)



Web購入会員数とアクティブ率※ (4Q単体)



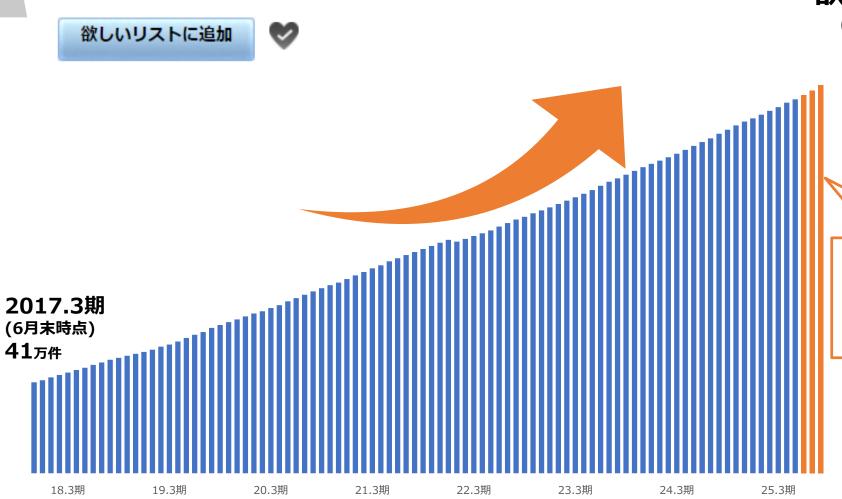


※アクティブ率…各四半期はじめのWeb会員数に対するその四半期の自社サイトでの購入会員数(Web会員のモール購入数は含まれない)

欲しいリストの登録商品数(月次)



新規登録数は月平均約9万件で継続して推移



欲しいリスト登録数 (2025年3月末時点)

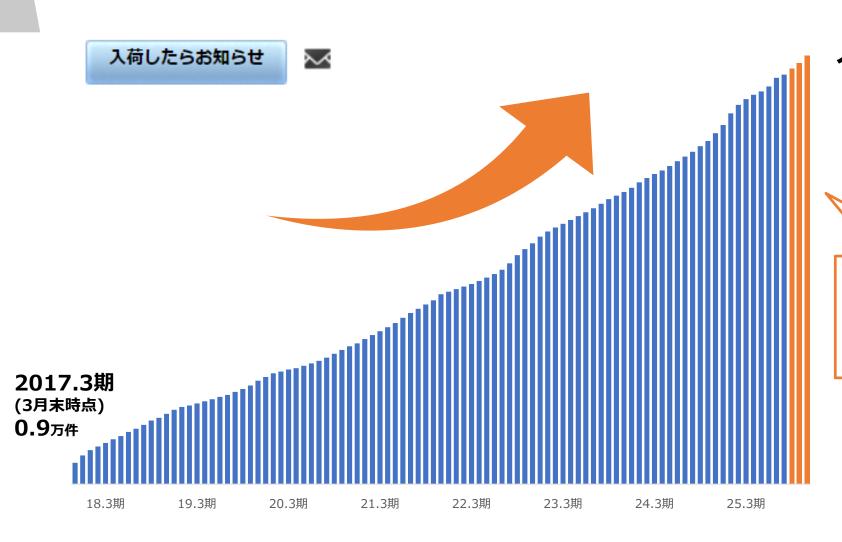
260万件

■新規登録数

2025年1月:75,716件 2025年2月:86,520件 2025年3月:108,351件

入荷お知らせメール登録数(月次)

新規登録数は月平均約7,000件と引き続き順調に増加



入荷お知らせメール 登録数 (2025年3月末時点)

約18万件

■新規登録数

2025年1月:7,161件 2025年2月:6,355件 2025年3月:8,144件

新品・中古カメラ市場 / マップカメラの目指す姿

国内シェア

2018年度 2023年度

約6% → 約9%

中古

_{※2}約17% → 約23%

成長機会

出 国内市場拡大の期待

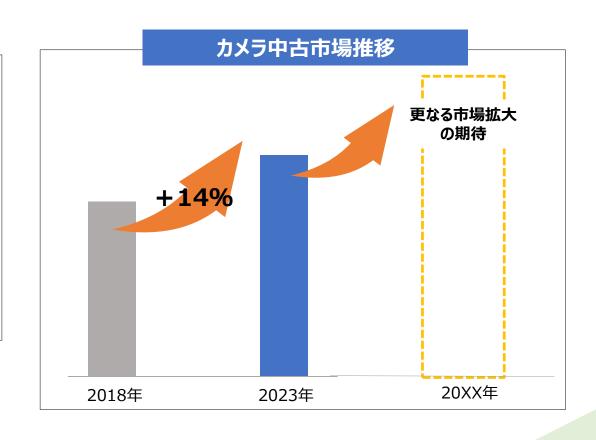
新 品

中古

新品・中古:他社シェアからの獲得

オンリーワンのカメラ専門店を目指す

- ・テクノロジーやAIを使ったサービスを お客様に提供
- ・シュッピンポイントの訴求による 新規獲得
- ・新たな世界観の訴求として 「TOP NOCTH」(トップナッチ)を開始

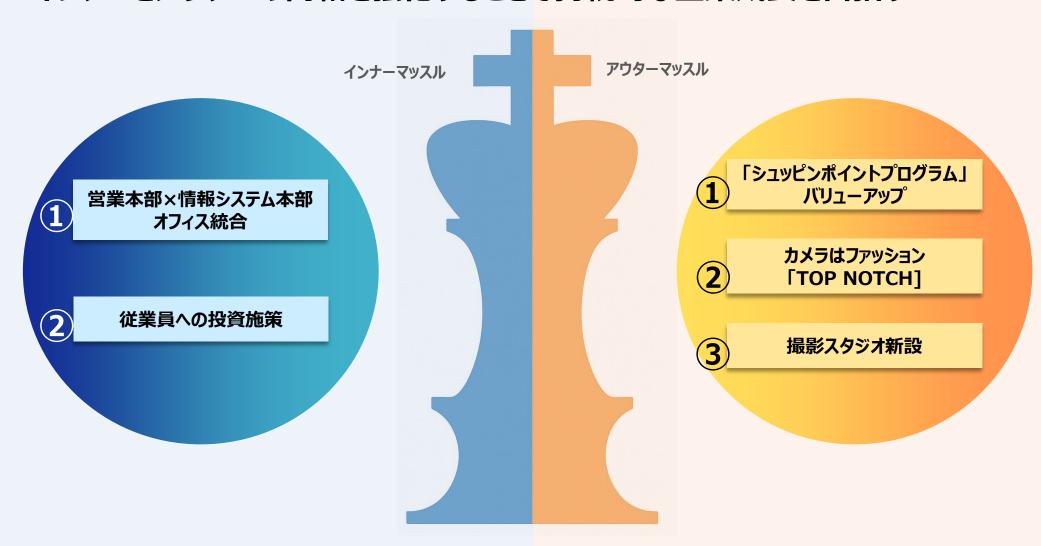




2025年3月期 取組み インナーマッスル・アウターマッスル



インナーとアウターの両軸を強化することで持続的な企業成長を目指す



インナーマッスル①:営業部門とシステム部門の連携強化

営業本部と情報システム本部が

"密に連携を取り合う"新オフィスを2024年10月に開設

最新のオフィス環境でさらなるイノベーションを実現

EIC Company + Re-Value

Electronic Intelligent Commerce







- Reuse × Value
- ・顧客ニーズへの迅速な対応
- ・ 営業サポート強化
- 意思決定のスピードアップ
- ・ サービスの提案力強化
- ・ 業務プロセスの最適化
- ・ 労働環境の改善

インナーマッスル②:人的資本投資・働く環境の刷新

働きやすい環境づくりを通じて人財の確保・定着を図り、持続的な成長を目指す



待遇面の向上

やる気への還元と、長期的な定着促進

- ✓ 2024年4月より、基本給を一律20%引き上げ
- ✓ **新卒初任給月給を305,000円へ改定**、生活安定 と人材確保を両立

ECサイトや店舗運営にとどまらず、 テクノロジーやAIを活用したサービス創造や 業務効率化を継続的に推進した事業活動

企業としての成果を従業員に還元



働く環境の刷新

管理本部のリニューアル+フリーアドレスの導入

- ✓ フリーアドレス導入で柔軟な働き方を実現
- ✓ 創造性と効率性が共存する職場環境へ
- ✓ 自発的なコミュニケーションを促す空間設計



「働きがい」と「働きやすさ」の両立を目指し、待遇と環境の両面から人財への投資を強化しています

アウターマッスル①:「シュッピンポイントプログラム」バリューアップ



長期目線での戦略的施策として開始



- バリューアップによる顧客満足度の向上
- シュッピン内(商材を超えて)でのお客様の囲い込み、 リピート率向上
- 新製品購入時における優位性
- 業界内での更なるシェア拡大

リリース詳細はこちらからご確認ください

(2025年1月28日開始)

従来·他社









当社バリューアップ後



アウターマッスル②:新たな市場でのシェア獲得を目指す

M

[Camera is Fashion]

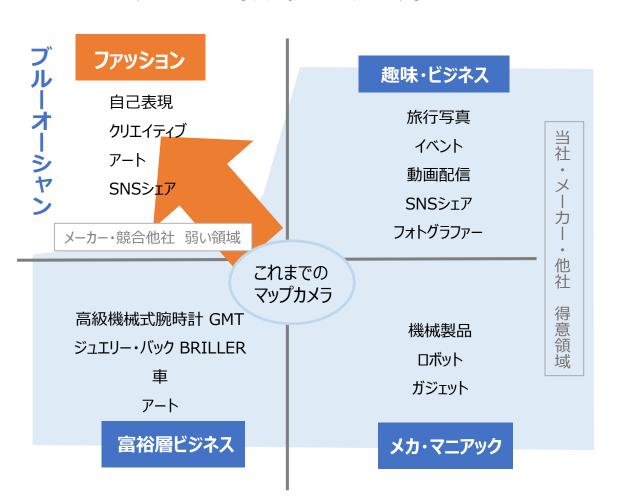
- カメラ市場のみにとどまらず、アパレル市場からの新規参入、シェア獲得を狙う
- ・従来のカメラ専門店の枠を超えた世界観を提供

新たなスタイルを提案するコミュニティイベント 「TOP NOTCH」(トップナッチ)

次回開催に向けて準備中、今後は全国各地での 開催も予定 (3/9開催済レポートはこちら)



シュッピンのビジネスに関わるマーケットイメージ



アウターマッスル③:動画コンテンツスタジオ新設

2025年1月 YouTubeコンテンツ強化 第2弾 自社内にスタジオを新設



テイストが異なる3つのスタジオ





唯一無二の コンテンツクリエイト機能 を有するEIC企業

- ✓ **ショート動画の作成数**はスタジオ新設前から**約2倍に**→お客様とのタッチポイント増加
- ✓ ファッションに関連したキーワードでの検索を強化→新規ユーザー、女性比率向上
- ✓ クオリティとクリエイティブカのさらなる向上により 質の高いコンテンツを発信

中期経営計画について

中期経営計画の考え方



売上高

主軸のECで2桁成長を維持

カメラECを成長ドライバーとし、28年3月期は全体EC売上高は590億円を目指す。

時計事業は市場動向や為替の影響をうけやすいこともあり、26年3月期は保守的な計画となる。

売上

総利益

26年3月期:19.0% 27年3月期:18.5% 28年3月期:18.3%

カメラ事業 : AI活用による、中古商品における粗利率の安定化

時計事業 : 仕入リスクを抑えるAIを活用し、利益額、利益率ともに回復を図る

販管費

基幹システムおよびデータウェアハウスのリプレイスに伴い、27年3月期から減価償却の計上を開始。 26年3月期はベースアップもあり、販売管理費は一時的に上昇するも、11%~12%台を維持。

投資

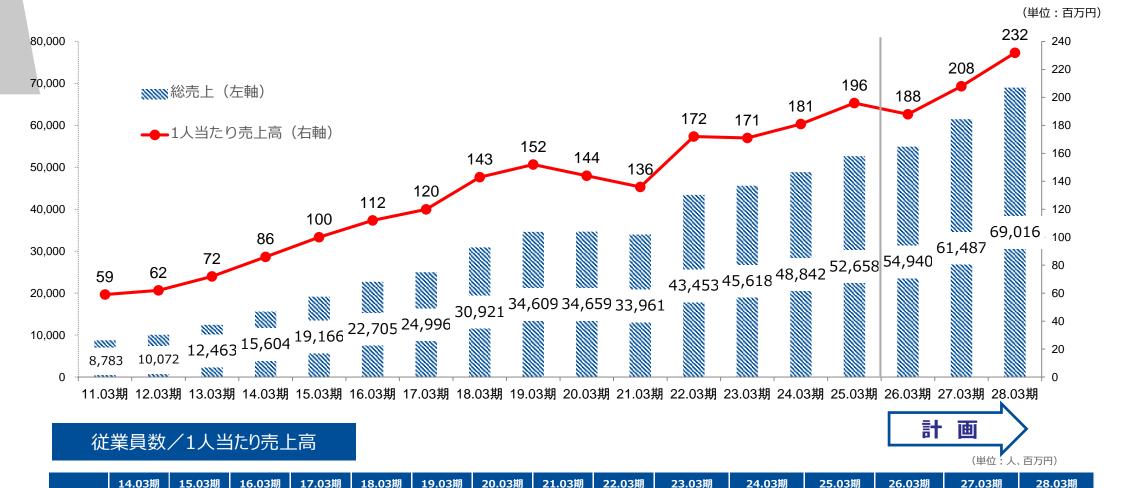
基幹システムおよびデータウェアハウスのリプレイスで約15億円を投資し、今後の成長基盤とする。

中期損益計画



今期 (金額:百万円) 25.03期 26.03期 27.03期 28.03期 実績 構成比 前期比 構成比 前期比 構成比 前期比 計画 構成比 前期比 計画 計画 売上高 54,940 61,487 69,016 112.2% 52,658 107.8% 104.3% 111.9% (EC) (40,638)(77.2%)(109.9%)(45,314)(82.5%)(111.5%)(51,861)(84.3%)(114.4%)(59,390)(86.1%)(114.5%)カメラ事業 41,237 78.3% 44,011 80.1% 49,615 80.7% 56,060 81.2% 112.5% 106.7% 112.7% 113.0% (EC) (34,867)(39,151)(44,755)(51,200)時計事業 19.3% 92.5% 17.6% 95.0% 17.0% 16.4% 10,156 9,651 10,423 108.0% 11,310 108.5% (EC) (4,689)(5,045)(5,816)(6,704)0.9% 筆記具事業 466 107.7% 480 0.9% 102.9% 537 0.9% 112.0% 603 0.9% 112.3% 自転車事業 797 1.5% 103.7% 797 1.5% 100.0% 911 1.5% 114.2% 1,041 1.5% 114.3% 売上 10,431 18.7% 107.9% 19.0% 105.9% 11,363 18.5% 108.9% 9,852 12,596 18.3% 110.8% 総利益 販売 12.3% 7,014 12.8% 108.7% 12.4% 11.9% 107.0% 6,455 111.6% 7,646 109.0% 8,180 管理費 営業利益 6.5% 3,396 101.6% 3,417 6.2% 100.6% 3,717 6.0% 108.8% 4,415 6.4% 118.8% 経常利益 3,368 6.4% 100.7% 3,387 6.2% 100.6% 3,687 6.0% 108.8% 4,385 6.4% 118.9% 当期 2,020 3.8% 87.0% 2,303 4.2% 114.0% 2,507 4.1% 108.8% 2,981 4.3% 118.9% 純利益

中期売上高及び人員計画



※1人当たり売上高=年間売上高÷期首、期末平均従業員数(派遣・アルバイト含む)

※2019.3期から新卒採用をスタート

従業員数

(派遣・アルバイ ト含む)1人当たり

売上高

株主還元方針:配当性向について

これまで:配当性向25%~35%を基準として利益成長に応じた安定継続配当

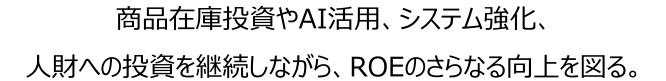
基本方針



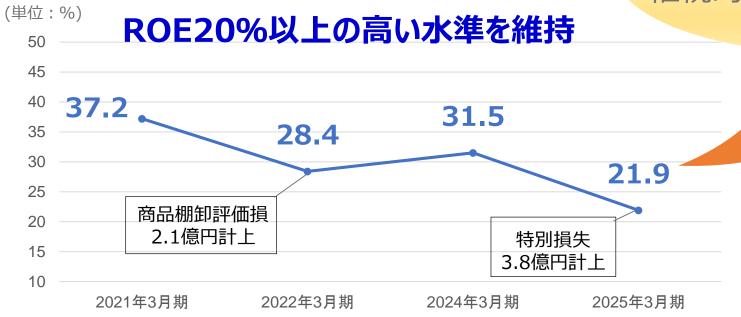
2026年3月期より: 配当性向40~50%を基準として利益成長に応じた安定継続配当



ROE推移/目指す水準



30%以上の水準を継続的に維持することを目指す



お客様とのタッチポイント拡大



多店舗展開しないビジネス戦略の元、これまでに構築してきたOne to Oneマーケティングを 更に強化して**お客様とのタッチポイント拡大**を目指す。

● お客様のスマートフォン、PCへ当社から訪問スタイル

テクノロジーを活用し、お客様との情報の相互提供が中心となる



● お客様に来店いただくスタイル

従来・他社



タッチポイントを増やすには新規出店が中心となり、 家賃、人件費などのコスト増につながる。



シュッピンの目指す姿



AIによるクローリング スクレピング活用

AIコンテンツレコメンド

CRM・レコメンド活用

EC小売企業からの変革



最先端テクノロジーを駆使し続ける

EIC (Electronic Intelligent Commerce) 企業

AI顔認証システム

eKYCを活用したサービス

システム人財の育成 体制強化

AI・HRテクノロジー eラーニングを活用した学習 AIサポートMD

予測型AI・BI アルゴリズム活用

取組み施策

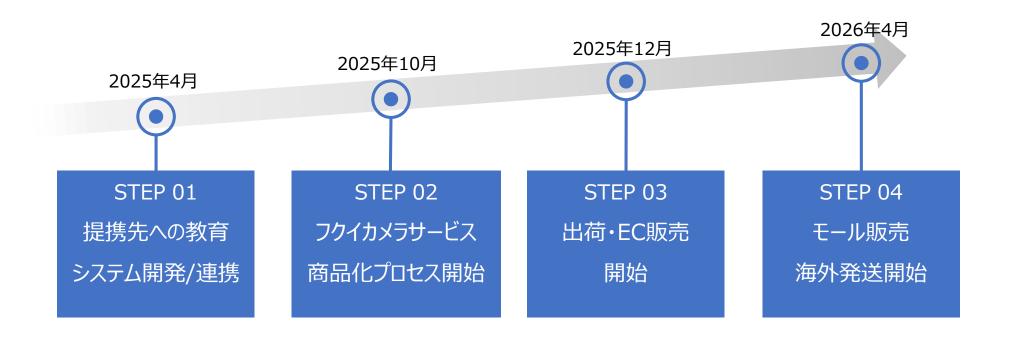
フクイカメラサービスとの協業推進

資本業務提携を結んでいる「フクイカメラサービス」への業務アウトソーシングを開始。

資本業務提携を結んでいるフクイカメラサービスにて、これまでの工程に加え

①商品の撮影、ECサイト掲載 ②お客様へ直接発送(ロジスティクス)

することで、買取から販売までのリードタイムを短縮、生産性の向上を目指す。



2027年3月期 基幹システム+データウェアハウスのリプレイス



「Front」と「Core」の両軸を強化

Front

様々なテクノロジーを載せるプラットフォーム

Security

セキュリティの 強化による 安心・安全な お取引

Performance

自社サイト比率80%を 支える強固な基盤

Core

経営分析・マーケティング戦略におけるAI活用

Intelligence

経営分析の深化や AI活用の更なる加速

AI活用の更なる加設 Big Data

Integration

システム統合 による業務 の最適化

在庫管理

受発注管理

顧客管理

商品マスタ管理

POS

修理·委託等独自業務



新基幹システム

会計システム連携

DWH導入/BI刷新

自社ECサイト・モール連携

カメラ:越境EC「ebay」販路拡大

- ・ebayにおいて、**カナダ、ドイツへ出店開始(2025年5月中予定)**
- ・アメリカ関税の課題がある中、ヨーロッパでの販売強化により売上拡大を狙う



- ✓ 「eBay Japan Awards 2024」で最優秀賞の "Seller of the Year (セラー・オブ・ザ・イヤー) "を 3 年連続受賞 (2022、2023、2024年)
- ✓ 約32万件のフィードバック中 99.9%のポジティブフィードバックを獲得中



2024年受賞内容

✓ カメラカテゴリー4冠

"Seller of the Year"

"Great Buyer Experience Award (顧客満足度アワード)" 受賞 カメラ

"eBay mag Award" 受賞 カメラ

"Category Growth Award for Camera" カメラ部門 ノミネート

/ 時計ノミネート受賞 Category Growth Award 時計部門

サステナビリティ情報

人的資本経営 ベースアップの実施





従業員一人ひとりの力や成長が会社の功績、成長に繋がる体制

概要

ベースアップ

正社員の基本給の一律20%引き上げ(+29,000円) および勤務手当のレンジ幅変更

新卒初任給

月給 305,000円

参考: 小売業 平均 約221,800円

実施の背景

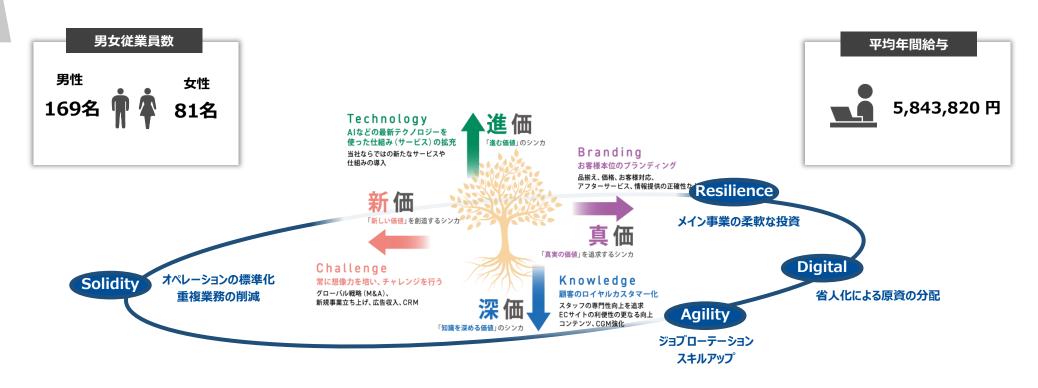
- ✓ 多様な人財がやりがいをもって働ける環境づくり、 人財の定着化を目指す
- ✓ テクノロジー活用・業務効率化による事業成長の 果実を、従業員にも還元
- ✓ 昨今の物価上昇や生活コストの増加を考慮

出典:厚生労働省 令和5年賃金構造基本統計調査「新規学卒者の所定内給与額」

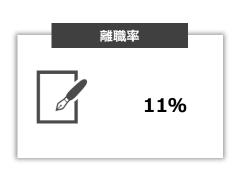
従業員情報 ~4つのシンカ・バリューチェーンシナリオプランニング~



従業員の目標管理に4つのシンカ・バリューチェーンシナリオプランニングを取り入れ、 ムダ・ムリのない働き方、重複やロスのない体制を築きエンゲージメントの向上を目指す











パラリンアートの取り組み

豊かな社会づくりへの貢献

カメラや写真といった、アートに関わるビジネスを展開していることもあり、パラリンアートは当社と親和性の高い取り組みだと考えています。

一般社団法人障がい者自立推進機構の「障がい者がアートで夢を叶える世界を作る」という理念に賛同し、2022年よりオフィシャルパートナーとして参画しております。



2024年度 作品



2022年度作品「受け継がれるモノ」/ケンタ様作



「My Favorite Things」 神吉みちる様 作



2023年度作品「新しい未来へ」/加藤たけひろ様作

ESG経営の推進:TCFD・CDP評価

TCFDへの対応

当社は循環型社会の実現を目指し、2022年度より TCFD提言に沿った情報開示を開始

気候関連リスク・機会を把握し、事業活動への影響を評価

今後もガバナンス・戦略・リスク管理・ 指標と目標の観点から開示を行います



CDP(気候変動)評価

過去実績

2022年 評価 B-

2023年 評価 C

2024年 評価 B

ESG経営の推進:国連グローバ・コンパクト加入について

国連グローバル・コンパクトへの署名や、温室効果ガス排出量の削減目標引き上げを実施。 当社の発展が持続可能な社会実現につながる経営を目指す。

国連グローバル・コンパクトへの署名・加入



4分野の各原則にコミットメントし、SDGsを推進

- 人権の保護
- 不当な労働の排除
- ・ 環境への対応
- 腐敗の防止

温室効果ガス排出量 削減目標の引き上げ

Scope-2の排出量(2030年)



実質排出量ゼロを目標に

業績見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内 及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の 更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。